

中2

数学

きほん

こたえ

名前

連立方程式の利用

____月 ____日

れい

りんご x 個とみかん y 個で10個、代金1040円 $\rightarrow x + y = 10, 120x + 80y = 1040$
… 個数と代金の2つの関係。

1 連立方程式をつくって解く

次の問題を、連立方程式をつくって解きなさい。

- (1) 鉛筆 5 本とノート 4 冊の代金は 650 円、鉛筆 1 本とノート 4 冊の代金は 450 円でした。鉛筆1本の値段を x 円、ノート1冊の値段を y 円として連立方程式をつくり、それぞれの値段を求めなさい。

$$5x + 4y = 650, x + 4y = 450 \quad x = 50, y = 100 \quad \text{答え 鉛筆 50 円、ノート 100 円}$$

- (2) 50 円玉と 100 円玉が合わせて 25 枚あり、金額の合計は 1800 円です。50 円玉を x 枚、100 円玉を y 枚として連立方程式をつくり、それぞれの枚数を求めなさい。

$$x + y = 25, 50x + 100y = 1800 \quad x = 14, y = 11 \quad \text{答え 50 円玉 14 枚、100 円玉 11 枚}$$

- (3) 1個 340 円のケーキと、1個 180 円のプリンに合わせて 14 個買くと、代金の合計は 3640 円でした。ケーキを x 個、プリンを y 個買ったとして連立方程式をつくり、それぞれ何個買ったかを求めなさい。

$$x + y = 14, 340x + 180y = 3640 \quad x = 7, y = 7 \quad \text{答え ケーキ 7 個、プリン 7 個}$$

- (4) 2けたの自然数があります。十の位の数と一の位の数之和は 14 です。また、十の位の数と一の位の数を入れかえてできる数は、もとの数より 36 小さくなります。もとの数の十の位の数 x 、一の位の数 y として連立方程式をつくり、もとの自然数を求めなさい。

$$x + y = 14, 10y + x = 10x + y - 36 \quad x = 9, y = 5 \quad \text{答え 95}$$

できた

/ 4問

